

講義科目 : 青年期の心理 (70期生)	単位数 : 2
担当 : 高橋 彩	学習形態 : 選択科目

### 講義の内容・方法および到達目標

この講義では、青年期の身体的発達、感情や思考、人間関係の特徴を理解し、青年期にあたる自分自身への理解を深めることを目的とする。授業で取り上げたテーマについて、自分自身の経験をもとに考察したレポート提出を求める。

#### 到達目標

- ①人の発達における青年期特有の心理と行動の特徴を説明できる。
- ②青年心理学の理論、概念について説明できる。
- ③青年期の心理と行動が、どのように家族関係や社会と関連しているのか理解できる。

### 授業計画

- 第1回 青年期とは
- 第2回 身体的発達と性 (思春期発達、ジェンダー)
- 第3回 青年期の認知 (形式的操作、視点取得、道徳性)
- 第4回 青年期の感情 (自尊感情、自己嫌悪、劣等感、悩み)
- 第5回 自己意識 (私的/公的自己意識、文化と自己、自己意識と臨床)
- 第6回 アイデンティティ (否定的アイデンティティ、プロセス研究)
- 第7回 親子関係 (心理的離乳、自律性、自立、ひきこもり)
- 第8回 友人関係 (仲間関係、同調圧力、希薄化)
- 第9回 恋愛関係 (恋愛の意識と行動)
- 第10回 教師-生徒関係 (日本の特徴、不登校支援、教師への信頼感)
- 第11回 時間的展望 (研究動向、時間的態度、臨床実践)
- 第12回 キャリア (キャリア発達、就職活動、若年無業者)
- 第13回 社会参加 (ボランティア、政治、地域社会への責任感)
- 第14回 生き方と生きがい (生き方の変化、生きる意味、死生観)
- 第15回 青年期から成人期へ

#### 試験

### 教材・テキスト・参考文献等

テキスト：高坂康雅（編）2018 ノードとしての青年期 ナカニシヤ出版  
 (ISBN978-4-7795-1274-2 2400+税)

### 成績評価方法

定期試験40%と授業内の課題レポート60%で評価する。